

長野大学紀要

第43巻第1号 (通巻第151号)

長野大学

2021年7月

目 次

〈論 文〉

感情神経科学と感情心理学の先駆としてのJames-Lange説(1):

—「泣くから悲しい」という逆転の発想はどこから来たのか?¹⁾— …………… 佐藤 俊彦 …… 1

東日本大震災後の海岸防災林再生地に植栽されたコナラ苗木の根元周辺を
ハビタットとして利用する土壌動物

～土壌改良材とマルチング材の影響～ …………… 中島 壮平・高橋 一秋 …… 9

労働時間におけるフレキシビリティをいかにして記述するか

ベンジャミン・スナイダーのエスノグラフィーを中心に …………… 松永 伸太郎 …… 27

障害者雇用継続のための取り組みプロセス

～就労支援担当者(分析焦点者)の声をM-GTAで分析して～ …………… 宮本 秀樹 …… 37

「思いの経営学」を基礎にした競争戦略の有効性

成熟期にある企業が競争上、イノベーション上有効な競争戦略をめざして …………… 森 俊也 …… 51

コロナ禍のインパクト (オンラインによる交流の活発化と、将来的な展望)

…………… 山西 敏博 …… 65

合併自治体の地域別将来人口推計に関する一考察

—長野県上田市武石地域(旧武石村)を事例に— …………… 竹井 由美・吉村 武洋 …… 71

長野大学紀要編集規程

(名称および発行)

第1条 本誌を「長野大学紀要」(以下「本紀要」という。)と称し、年4回発行することを原則とする。

(目的)

第2条 長野大学において教員が行っている研究および本学で実施された共同研究や受託研究の成果を学内外に紹介し、長野大学の教育・研究活動の活性化に寄与することを目的とする。

(編集委員会)

第3条 長野大学図書館運営委員会のもとに、長野大学紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)を置く。編集委員会委員長は図書館運営委員会委員長が兼ねる。

2 本紀要の原稿の募集・編集は編集委員会が行う。

(投稿資格)

第4条 投稿できる者は原則として本学の専任教員、名誉教授とする。ただし、本学の非常勤講師等も投稿することができる。

2 本学の教員と共同研究を行う者。

3 本学学生・研究生等は、投稿資格を有する教員等が共著者である場合は投稿を認める。

4 その他編集委員会が認めたもの。

(投稿原稿)

第5条 本紀要に掲載する原稿は他に未発表のものに限り、種類は次の各号に掲げるものとする。

(1) 論文

(2) 研究ノート

(3) 書評

(4) その他の編集委員会の認めたもの

(研究倫理の遵守)

第6条 本紀要に投稿する原稿は、長野大学研究倫理規程に則ったものであること。

(点検)

第7条 本紀要に掲載される論文等の水準を維持するために、編集委員会が点検を行う。場合によっては編集委員以外の者の意見を聞くことがある。

2 編集委員会は点検の結果に基づき、原稿の内容について執筆者に修正を求めることがある。

3 点検についての詳細は別に定める。

(掲載の可否)

第8条 編集委員会は点検結果に基づき、投稿原稿の掲載の可否を決定する。

(著作権)

第9条 本紀要に掲載された論文等の著作権の取り扱いは、以下のとおりとする。

(1) 著作権は著者に帰属する。

(2) 著者は著作物の複製権と公衆送信権の行使を大学に委託する。

(3) 本紀要に記載された論文の全部あるいは大部分を他の著作物に利用する場合には、その旨を編集委員会に申し出るとともに、出典を明記すること。また、一部分を利用する場合にも、文献あるいは図説の下に出典を明記すること。

(論文等のネットワーク上での公開)

第10条 本紀要に掲載された論文等は、原則として電子化し、長野大学ホームページ等を通じてネットワーク上に公開する。

2 公開を希望しない場合は、寄稿申込時に所定の手続きにより、公開を拒否することができる。

(配布)

第11条 発行された紀要は専任教員、客員教員、名誉教授および非常勤講師等へ配布する。

(抜刷)

第12条 執筆者には抜刷50部を配布する。ただし、50部をこえる分については執筆者がその費用を負担するものとする。

(執筆要領)

第13条 原稿は別に定める執筆要項にしたがうこととする。

(改廃)

第14条 この規程は改廃は、全学教授会の意見を聴き、学長が行う。

附則

本規程は平成29年4月1日から施行する。

編集委員会

委員長 田中 法博

委員 相川 陽一、石川 義宗、遠藤 忠、

藤井 博之

2021年7月31日 発行

長野大学紀要 第43巻第1号(通巻第151号)

編集 長野大学紀要編集委員会

発行所 長野大学

長野県上田市下之郷658-1

TEL (0268)39-0005

印刷 田口印刷株式会社

上田市殿城425-1

TEL (0268)22-0680

BULLETIN OF NAGANO UNIVERSITY

Vol. 43, No. 1 , July 2021

CONTENTS

Articles

- William James's theory of emotion as a pioneer work of affective neuroscience,
Part 1: What is the origin of the reversal idea of the famous phrase, "We feel sorry because we cry."
Toshihiko SATO 1
- The effects of soil amendments and mulch on soil animals living near the roots
of *Quercus serrata* saplings planted in a seaside-protection forest regeneration area
after the Great East Japan Earthquake
Souhei NAKAJIMA, Kazuaki TAKAHASHI 9
- How can sociology describe flexibility in working time?
: With a focus on Benjamin Snyder's ethnography
Shintaro MATSUNAGA 27
- The processes for maintaining the employment of disabled persons
- An analysis of the voices and thoughts of employment support service providers
(the primary subjects of this analysis) using M-GTA -
MIYAMOTO HIDEKI 37
- Effectiveness of the Competitive Strategy by "Management Based on Desire"
Shunya MORI 51
- Impact during COVID-19
(Active Interpersonal Exchange by the Online and Prospect to Future)
Toshihiro YAMANISHI 65
- Regional Population Projections for Merged Municipalities in Japan:
A Case Study of the Former Village Takeshi, Nagano Prefecture
Yumi TAKEI, Takehiro YOSHIMURA 71